

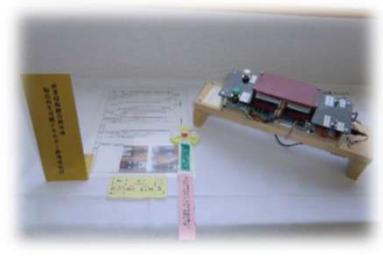
第68回福島県発明展

受賞作品一覧

(敬称略)



No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
1	福島県知事賞	節水装置「ウォーターループ」	南会津町 湯田 哲	給湯器のお湯を利用する時、お湯になるまでの「捨て水」。一家庭当たり3.6トンにものぼる捨て水を再使用し無駄を防ぐ装置です。ポータブル化し設置がし易くコストも安価にすることを可能にしました。
				
2	福島県知事賞	点字習得装置	福島市立 北信中学校 3年 佐藤 琉碧 私立桜の聖母学院 高等学校 2年 佐藤 優衣	視覚障害者が点字を学習し易くしてQOLを高められる様に音声認識で音節の点字を表示したり、装置が出題した点字を声で答えたり正解率の低い点字を優先的にひとりでも学習したりできる装置です。
				
3	福島県知事賞	立ったまま楽しくちりとり	喜多方市立 堂島小学校 3年 関本 桜里姫	曾祖母が掃除中に腰が痛くてかがむのが大変だと言っているのを聞いてクリップでスリッパに足を入れるカバーを取り付けて立ったまま使えるちりとりを考えました。高齢者でも簡単に使えます。
				
4	東北経済産業局長賞	自動えんそう機	須賀川市立 長沼小学校 5年 和田 寧々	ピアノの練習中に自動で曲を演奏してみたいと思いビー玉と音に合わせた穴を開けた板を引いて演奏する装置を作りました。筒に入れたビー玉の色を見えるように工夫しました。
				
5	一般社団法人福島県発明協会会長賞	カラリダクト	郡山市 丹治 順一	布団乾燥機の温風を足先まで広範囲に送ったり、洗濯竿に使用する事で洗濯物の片寄りや重なりを防ぐリンク機構のダクトを考案しました。ダクトの回転により布団を干す鵜の上げ下ろしが楽です。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
6	一般社団法人福島県発明協会会長賞	2 段式エコバック	福島県立福島商業 高等学校 3年 長谷川 夢奈 福島県立福島商業 高等学校 3年 阿部 杏郁	エコバックを使うときに、硬い物や重い物で他の柔らかい物が潰されないように真ん中につける仕切りを工夫し二段に分けて簡単に袋詰めしやすくしました。
				
7	一般社団法人福島県発明協会会長賞	転倒むし (てんとうむし)	南相馬市立 原町第三小学校 5年 草野 颯樹	高齢者が数ミリの段差で転倒する事を知り、素足でも靴下でも使える足首と指にかけつま先を浮かせるバンドを作成しました。数ミリ持ち上げることでつまずきを防ぎます。
				
8	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 長賞	スマホから目と首・顎を守るグッズ	相馬市 星 健一	ブルーライトカット眼鏡に首の前傾を感知するとブザーがなる装置を組合せスマホ猫背[スマホ顎関節症やスマホ首(ストレートネック)]などの健康被害を防ぎ目と首・顎を守ります。
				
9	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 長賞	ノータッチ・ストップウォッチ	福島県立塙工業 高等学校 3年 鈴木 孝太郎	ミニ四駆のラップタイムやジョギングなどのタイム測定ができるセンサーで反応するストップウォッチです。近くや遠くの範囲でもスイッチで設定できます。
				
10	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 長賞	ビールほじゅうき	白河市立 白河第二小学校 6年 荒井 千咲喜	光センサーの利用で冷蔵庫内の入れ物のビールが残り一本になった時冷蔵庫の扉が開いているタイミングで音声で残り一本になっている事を知らせます。扉を閉めると音声止まります。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
11	福島県教育委員会 教育長賞	災害時に使えるイス	白河市立 白河中央中学校 1年 佐藤 光汰	災害被災者の声を参考に身近な物でいざという時に役立つ物としてペットボトルで水を保存し同時にポケットにライトやマスクを保管できイスになるグッズを考えました。
				
12	福島県教育委員会 教育長賞	チョコ噴水	会津若松市立 行仁小学校 6年 宮森 秀一朗	"ヘロンの噴水"の力を利用して、チョコフォンデュを作ろうと思いました。ストローを少し太くして液状のチョコを流れやすくしました。
				
13	公益社団法人発明 協会会長奨励賞	ウォーターガイド	福島市立 杉妻小学校 2年 村井 颯匡	2歳の弟が蛇口に手が届くように考えました。水野出る方向が分かり易い様に矢印をつけペットボトルの切り口で手を切らないようにテープを付けました。
				
14	日本弁理士会会長 奨励賞	おじいちゃん お風呂がわきました。	福島市立 野田小学校 5年 羽田 雅紀	祖父の家のお風呂はお湯が溜まっても自動でお湯が止まらないので希望の水位になるとブザーで知らせる装置を考えました。お湯をためる高さは自由に調節できます。
				
15	福島県工業クラブ 会長賞	一輪車にも二輪車にも使用状況で切 換出来る機構	二本松市 日下部 準	物の運搬に使用する一輪車で荷物の重心が偏っていると移動が不安定になり危険だった為、状況により二輪車へ切り替えることで安全に運搬できるようにしました。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
16	公益財団法人 福島 県産業振興セン ター理事長賞	進め福島木馬	郡山市 株式会社 アサヒ研創	従来のゆらゆらと揺れるだけの木馬ではなく揺らすと少しずつ前進出来、又、脚を乗せる部分が確保しているので安全にも配慮し、よりワクワクとした楽しさを考えました。
				
17	公益財団法人福島 県産業振興セン ター理事長賞	エビの皮むき器	いわき市立 豊間中学校 2年 望月 蓮	母がエビの皮を剥くのが大変そうだったので楽にできる物を考えました。鋭利なままだとエビを切り過ぎるので片側を細い棒にしました。
				
18	公益財団法人福島 県産業振興セン ター理事長賞	目薬ガイド	相馬市立 桜丘小学校 6年 稲垣 羽南	祖母の為に考えました。カップに目薬をはめて上を向くので手がぐらぐらせずちゃんと目薬をさすことができます。
				
19	日刊工業新聞社長賞	雨どい等を利用した再生可能エネルギー発電によるライト	埴町 大竹 伸	雨どいを流れる雨水の位置エネルギーを効率よく利用しようと考え雨樋に水力発電をつなぎ合わせて発電し雨天や夜間に発電できない太陽光発電の代わりに使います。
				
20	毎日新聞社賞	好きな高さで干せるんです	福島市立 杉妻小学校 6年 柏倉 煌成	祖母が洗濯物を干しているのを見てかまなくても楽な姿勢で干せる様に洗濯フックにリールのスライドスイッチをつけました。干す時にフックを下げると省スペースになります。
				

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
21	福島民報社長賞	登下校の もしものおたすけファイル	福島市立 御山小学校 3年 酒井 ひなた	防災リュックをヒントにして登下校の時に困ったことを助けてくれるグッズを入れるファイルを考えました。ランドセルにぴったりサイズにするために文房具を材料に選びもしもの場面ごとに分けました。
				
22	福島民友新聞社長賞	たなテーブル	福島市立 御山小学校 6年 津釜 啓杜	縦置き横置きどちらでも使用でき、蝶番を使い横に大きくしたことによりテーブルとしても使えキャスターもつけて移動をしやすくしました。
				
23	ラジオ福島社長賞	クールなセンス	郡山市立 桜小学校 4年 齋藤 陽樹	夏の節電にうちわや扇子を使うようにしていたがうちわは持ち運びが邪魔なので扇子を更に涼しく使える様に靈感タオルを使いあおいでも触っても涼しくしました。
				
24	ふくしまFM社長賞	さすだけ！レター収納箱	埴町立 埴中学校 2年 吉田 真依子	家に届いた手紙類をひと目見ただけで判るように毛糸を細かく巻き付けて毛糸にハガキなどを刺すだけで整理できるように作りました。
				
25	福島テレビ社長賞	パッとポリ袋	埴町立 埴中学校 1年 根本 隆太	スーパーの食品を入れる薄いポリ袋を使う時に薄くて開けにくかったので、袋を入れたかごの縁部分に滑り止めをつけて軽く押し付ければ簡単に開くように考えました。
				

No.	受賞名	作品	出品者	作品概要
26	福島中央テレビ 社長賞	あなたの手とマスクを守りますく！	郡山市立 高瀬中学校 2年 小林 綾莉	使用中のマスクの表面に触れてしまうのが不衛生だと思ったので直接触れずに外したり着けたりする装置を考えました。
				
27	福島放送社長賞	中心線引き出し君	福島県立北工業 高等学校 2年 藤田 悟	木材加工をする際に必要な中心線を長さを測ることなく書き出すことができ、様々なサイズに対応し曲がっていても正確に中心線をとれるように工夫しました。
				
28	テレビユー福島 社長賞	早くかわけ ドライもん	白河市立 五箇小学校 6年 井上 あかり	洗濯ものを干した時に早く乾かせるように、ガチャガチャのカプセルを取り付け扇風機の風をうまく受けられるようにして遠心力で洗濯物を早く乾かします。
				
29	奨励賞	伸縮噴霧器	埴町 鈴木 仁	蜂の巣の駆除をする際に、手の届かない狭い所や近づけない場所にある時に高枝挟みの先端にスプレーホルダーを付け離れた所から噴射し安全に駆除作業ができる装置です。
				
30	奨励賞	目安が分かる「お助けライト」	福島市立 清水小学校 4年 佐藤 生実	書写の学習で筆の書き出しの目安が分からなくて困ることがあったので小さなライトにシリコンのホルダーをつけ穂先を照らし容易に書き始めの筆の位置の目安がわかります。
				

No.	受賞名	作 品	出品者	作品概要
31	奨励賞	手をまもる君	郡山市立 薫小学校 3年 黒澤 千玲	硬い物を切る時に包丁の峰を抑える手が痛くなるのでそれを防ぐ装置を考えました。手を乗せる所はランチョンマットを使い洗える様に工夫しました。
				
32	奨励賞	ピタットキャップくん	郡山市立 芳山小学校 5年 古川 峻	磁石の力を使って鉛筆を使う時にすぐ取れる事、鉛筆を無くさずに置いておける様にするためにキャップに磁石を付けて机に置くケースにつけておくようにしました。
				
33	奨励賞	メモリつきぬい針	南相馬市立原町 第三小学校 5年 富田 恵唯	家庭科の授業で縫い目をそろえて縫うことが出来なかったので誰でも簡単にきれいに縫える目盛を付けました。目盛の色を変え見やすくし、並縫いだけではなく半返し縫いもきれいに縫えます。
				
34	奨励賞	食器洗い手袋	いわき市立 豊間中学校 3年 大平 望果	通常のスポンジでは厚みがあり扱いにくいのでクロスタイプの食器洗いを手袋に付けました。手も濡らさず、乾きも早いので効率が良いです。
				

学校賞

賞名	発明奨励賞
学校名	塙町立塙中学校
学校名	福島市立杉妻小学校
賞名	青少年発明奨励賞
学校名	塙町立塙中学校
学校名	福島市立杉妻小学校